

東京i CDCリスコミチームによる 都民アンケート調査結果

別紙

2021. 11. 5.

- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：東京都に住所を有する20代から70代までの者
- サンプルング方法およびサンプル数：

性・年齢構成を東京都の人口比率に合わせた割当抽出。
1,000 サンプル。

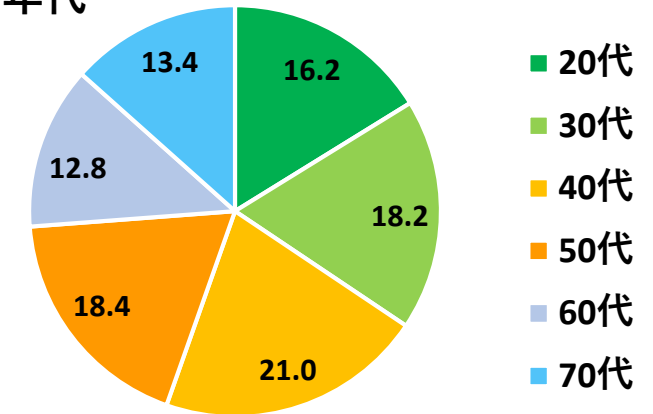
- 調査期間：2021/10/21 18:24 ~ 2021/10/22 18:15

- 調査項目：

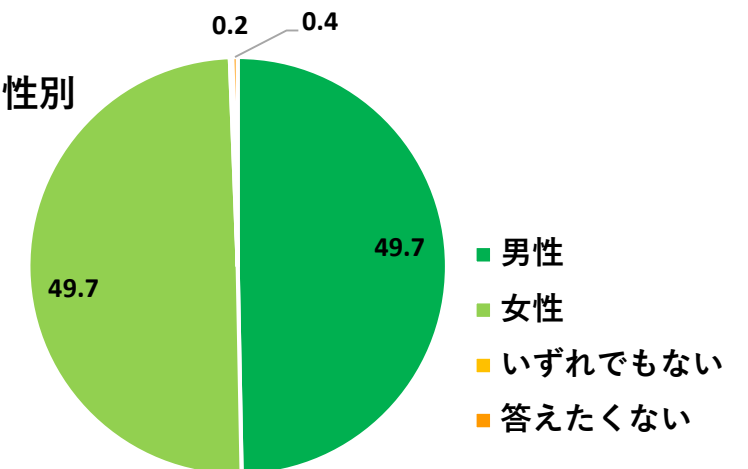
- ✓ 現時点での感染防止対策の取組状況
- ✓ ワクチン接種意向
- ✓ 「接種しない」「わからない」 → その理由
- ✓ 新型コロナ感染・対策についての意識

(再拡大への不安、ワクチン3回目接種への意向、など)

回答者の年代



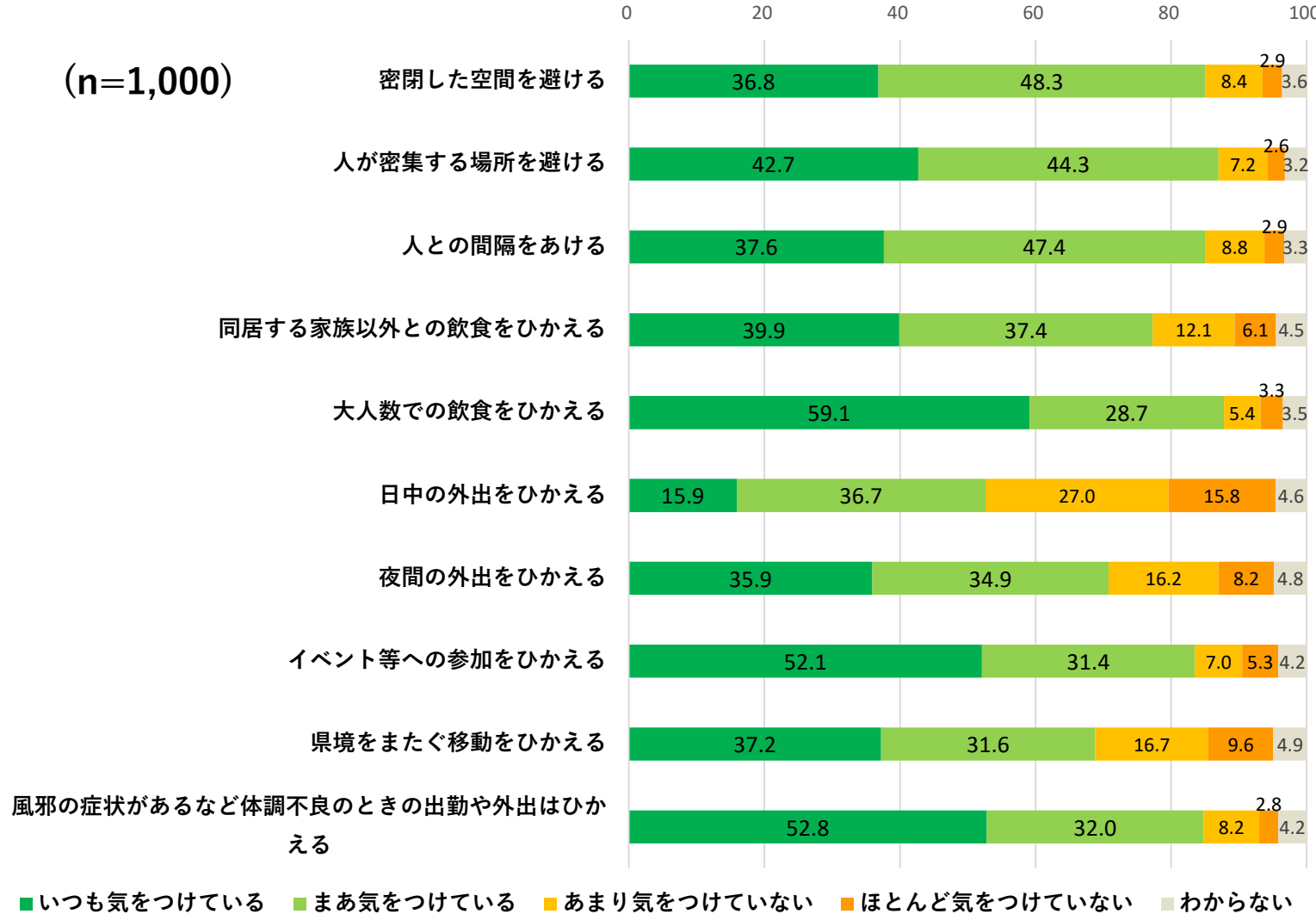
回答者の性別



Q1 新型コロナウイルスの対策について、現在のあなたにあてはまるものを、それぞれ1つ選んで下さい。

(n=1,000)

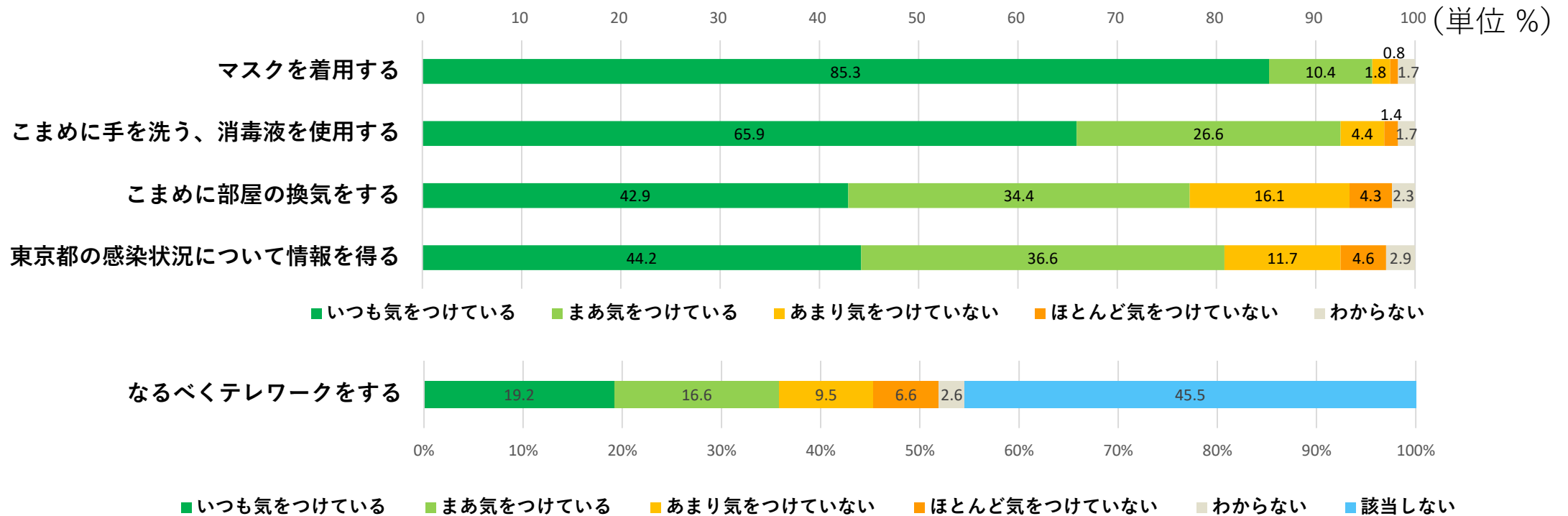
(単位 %)



- ◆ 「密を避ける」、「大人数での食事をひかえる」、「イベント等への参加をひかえる」、「体調不良時の外出をひかえる」といった項目では8割以上の方が「いつも/まあ気をつけている」と回答。7月にも都民アンケート調査を実施したが、これらを気をつけている割合は7月時点とほぼ同程度である。
- ◆ 「日中の外出をひかえる」、「夜間の外出をひかえる」、「県境またぎの移動をひかえる」の項目では、気をつけている割合が5割～7割であった。7月調査と比較して約5～10%の減少に留まっている。
- ◆ 緊急事態宣言解除後も、**総じて多くの都民が感染防止対策を継続**していることがうかがえる。

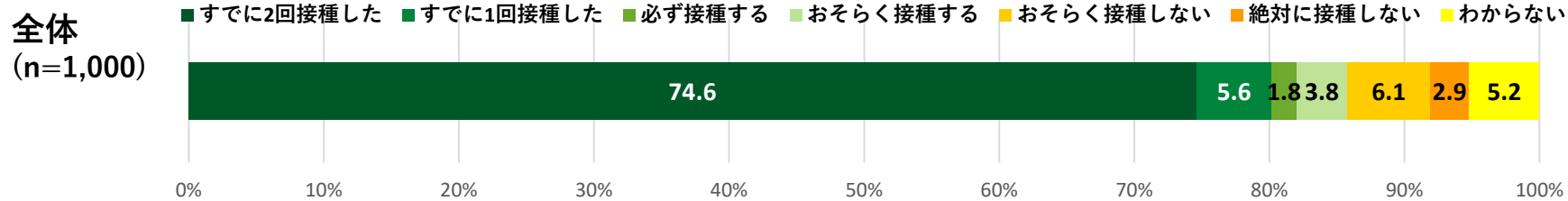
Q1 新型コロナの対策について、現在のあなたにあてはまるものを、それぞれ1つ選んで下さい。

(n=1,000)

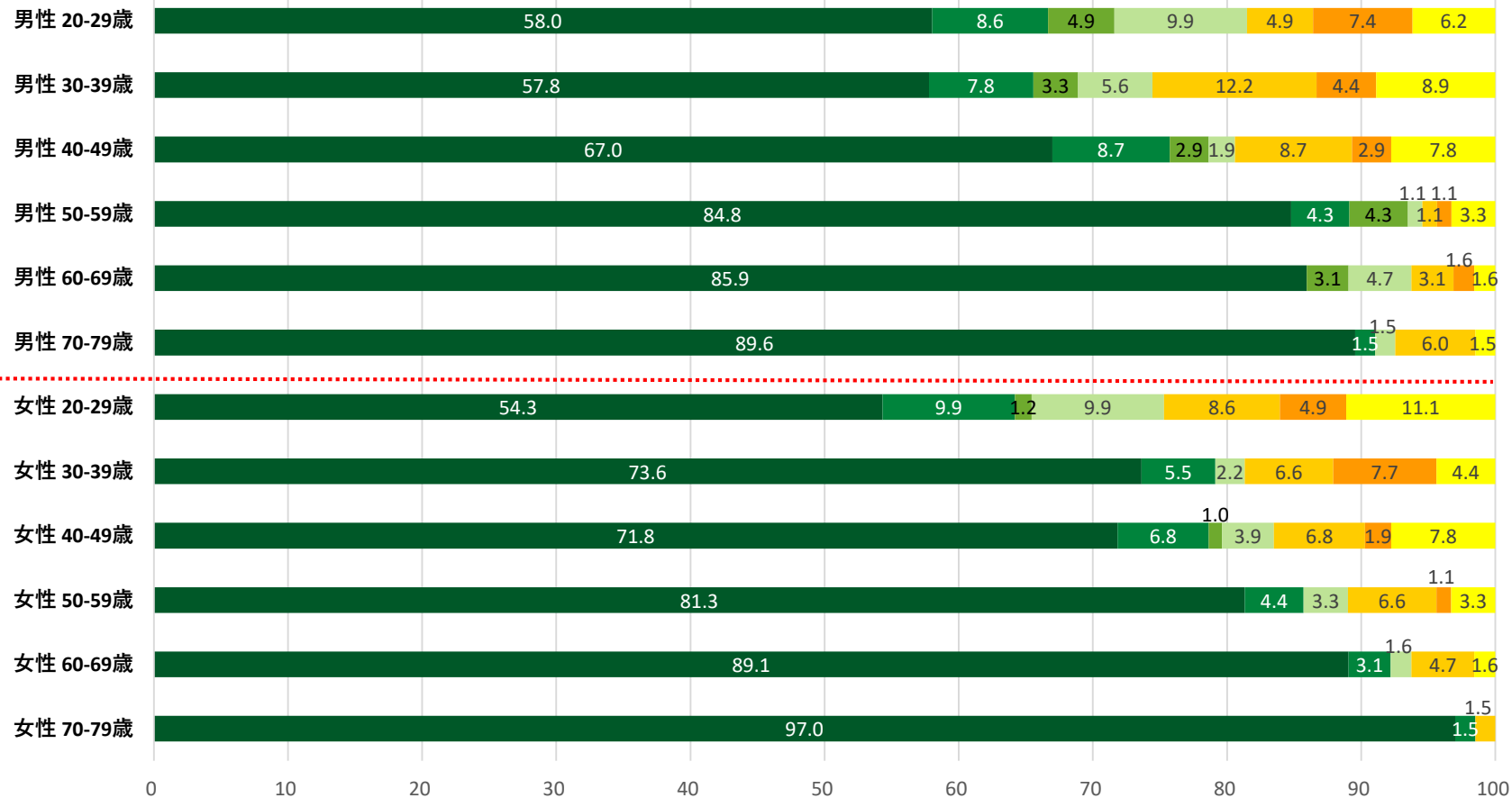


- ◆ マスク着用、手指衛生については9割以上、こまめな換気については8割近くが「いつも/まあ気をつけている」と回答。この割合は7月調査の値と同じ程度であり、**多くのひとがこうした基本的な感染防止対策を続けている**ことが分かる。
- ◆ テレワークについては、該当者（「該当しない（テレワークができない仕事についている・現在仕事をしていない）」をのぞく）のうち、「いつも気をつけている」は約35%で、「まあ気をつけている」を合わせると6割以上となっている。これらの値は7月調査とほぼ同程度。

Q2 あなたは、新型コロナワクチンの接種を受けようと思いますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

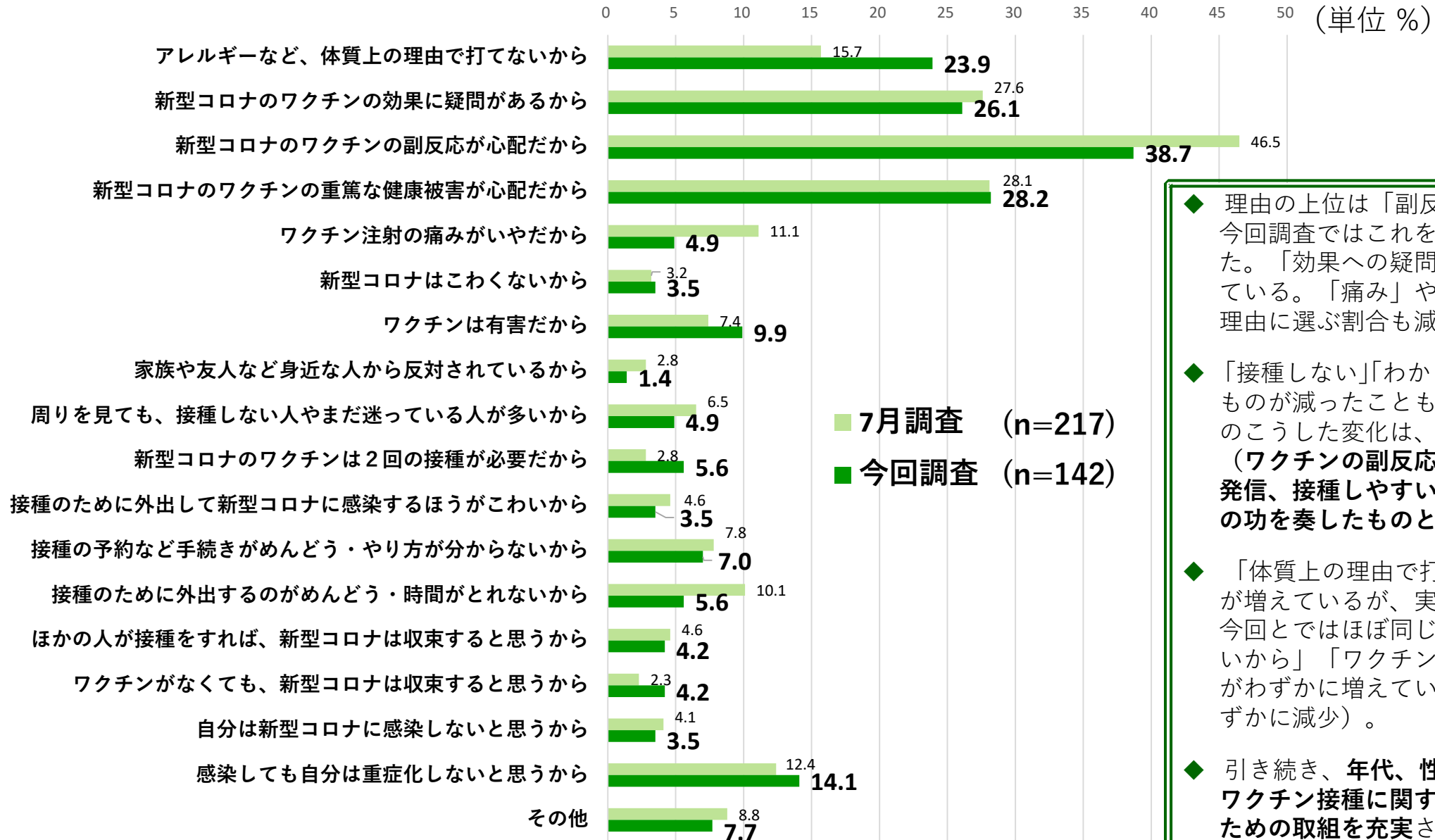


年代性別(n=994)



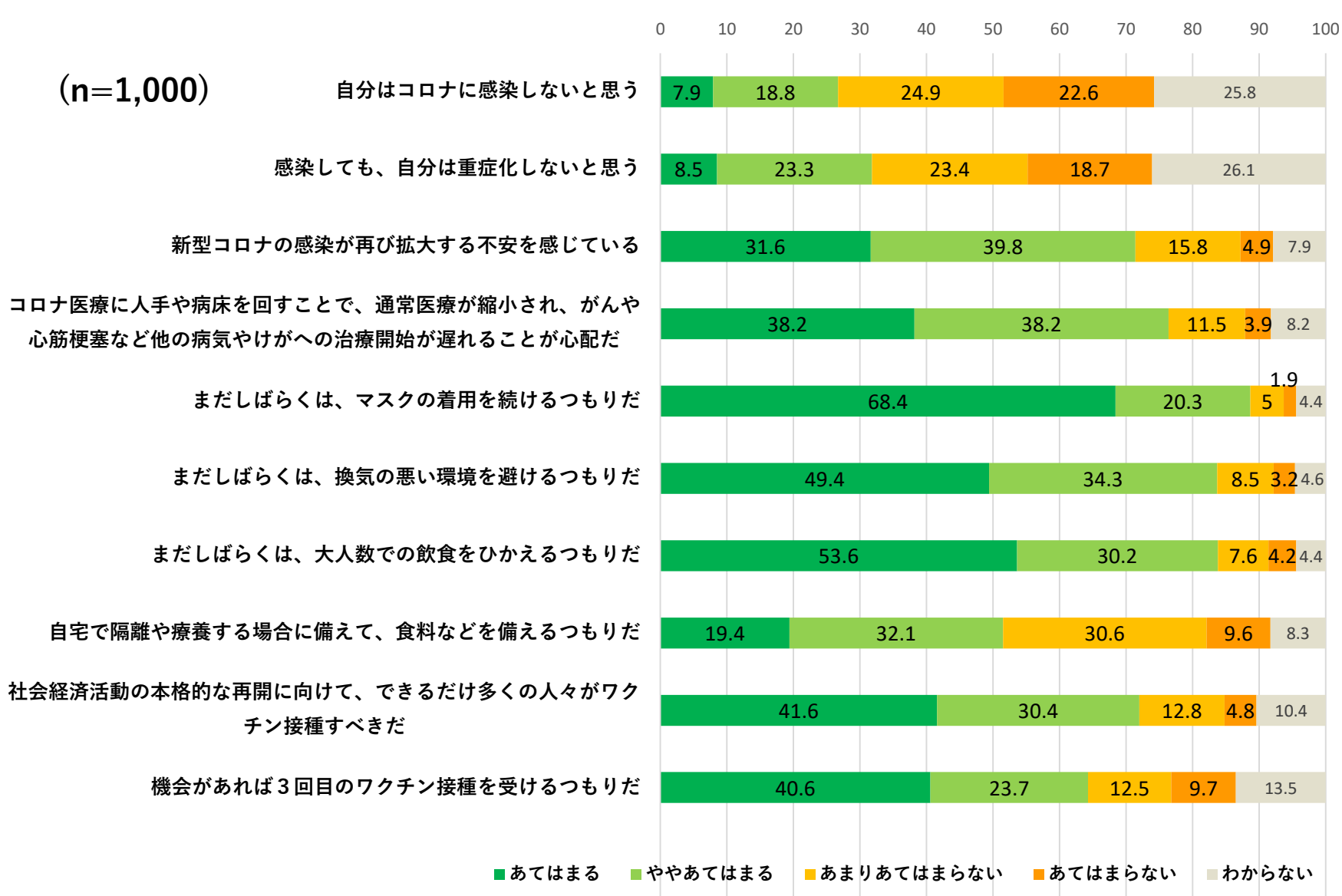
- ◆ 全体で見ると、7月調査の時点と比べて、接種経験と接種意欲のある回答の合計が増加し（7月：78.3% → 今回：85.8%）、「接種しない」「わからない」の合計は減少し（21.7% → 14.2%）ている。
- ◆ すべての年代で接種が進み、接種意欲も高まっている。20代、30代では、7月からの「わからない」「おそらく/絶対に接種しない」の減少がとくに顕著である。
- ◆ 50代、60代、70代では男女ともに、接種経験と接種意欲のある人がほぼ9割あるいはそれ以上にのぼる。

Q2a 新型コロナワクチン：「接種しない」「わからない」→ その理由は何ですか（全世代）（あてはまるものをすべて）



- ◆ 理由の上位は「副反応への心配」だが、今回調査ではこれを選ぶ割合が8%減少した。「効果への疑問」もわずかに減ってきている。「痛み」や「時間」「手続き」を理由に選ぶ割合も減ってきている。
- ◆ 「接種しない」「わからない」の回答数そのものが減ったことも含めて、理由についてのこうした変化は、この間の様々な取組（ワクチンの副反応や効果についての情報発信、接種しやすい環境整備など）が一定の功を奏したものと考えられる。
- ◆ 「体質上の理由で打てないから」の割合が増えているが、実数としては7月調査と今回とではほぼ同じ。「自分は重症化しないから」「ワクチンは有害だから」も割合がわずかに増えている（実数は前回よりわずかに減少）。
- ◆ 引き続き、年代、性別に対応しながら、ワクチン接種に関する意思決定を支援するための取組を充実させることが必要。

Q3 新型コロナに関して、あなたの気持ちにあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。



- ◆ 「自分は感染しない」「自分は重症化しない」とする回答は3割前後となっている。
- ◆ 「再拡大の不安」「通常医療への影響の心配」は7割以上のひとが感じている。
- ◆ マスク着用、換気、大人数での飲食ひかえについて、「まだしばらくは続ける」と回答した割合は8割～9割近くとなっている。多くの都民の、基本的な感染防止対策をこれからも続けようとする姿勢が見てとれる。
- ◆ ワクチンに関して、7割のひとが社会経済活動再開に向けて周りにも打ってほしいと考えている。また、**自らの3回目接種について意欲を示す割合は6割程度**であり、接種意向は年代があがるにつれて高まる傾向が見られる。

Q3 新型コロナに関して、あなたの気持ちにあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

「年代・性別」と「機会があれば3回目のワクチン接種を受けるつもりだ」の関連

